

## 本事例の基礎データ

カテゴリ	ICT 及び先端技術を活用した指導方法		
学校種	小学校	事例提供者	町田市立町田第五小学校
学年	5 学年	教科等	社会科
単元名	わたしたちの生活と工業生産		
主な ICT 機器	・LTE タブレット PC (キーボード付き ChromeOS 機/一人 1 台)		
ワンポイント	日本の工業生産の特色について、多様な学び方を設定し、学びを深める。		
「情報活用能力 #東京モデル」の位置付け	情報活用	STEP 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事実や根拠に基づき、論理的に分析・判断できる</li> <li>・得られた情報について論理的に考察し、新たな意味を見いだせる</li> </ul>

## 本事例における教育の情報化について

【ポイント 1】	<p><b>日常的な、一人 1 台の LTE タブレットの活用</b></p> <p>授業で活用する際は、一人 1 台の端末を利用している。それにより、自分の学習に集中することができ、学びを深めることにつながる。</p>
【ポイント 2】	<p><b>G Suite for Education Classroom の活用</b></p> <p>児童は各学級の Classroom に所属し、授業の課題や係活動などに活用している。Classroom に新たな更新があるかどうかを日常的に確認する癖が身についている。</p>
【ポイント 3】	<p><b>G-suite (「スライド」) 内での共有・共同編集機能の活用</b></p> <p>「スライド」や「ドキュメント」、「スプレッドシート」は、複数人で共有することができ、共同編集ができる。本事例では、3 人で一つのファイルを共有することにより、グループ学習を行った。</p>

## 本単元（題材）における指導の流れ

時間	●主な学習活動 ・児童の活動	○支援・留意点 ☆評価
1 ～ 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【<b>くらしを支える工業生産</b>】</li> <li>・工業製品と自分たちのくらしの関わりを考える。</li> <li>・身の回りの工業製品が、どこでどのように作られているのかを知る。</li> <li>・日本の工業生産の特色について考える。（本時）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料の数値のみに注目するのではなく、いくつかの資料を関連させて思考を広げるような学習活動を行う。</li> <li>☆工業生産の概要について、主体的に学習問題を追求し、資料を読み取り、工業生産の概要を理解している。</li> </ul>
4 ～ 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【<b>自動車をつくる工業</b>】</li> <li>・自動車づくりに関わる人の工夫や努力について考える。</li> <li>・自動車の生産方法について知る。</li> <li>・完成した自動車がどのように世界中に届けられるのかを知る。</li> <li>・新しい自動車を提案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動車の生産に関わる人々は、消費者の授業や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう、工夫や努力をしていることに気付かせる。</li> <li>☆消費者の需要や社会の変化を関連付け、自動車生産に関わる人々の工夫や努力について考え、表現している。</li> </ul>
8 ～ 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【<b>工業生産を支える輸送と貿易</b>】</li> <li>・工場で作られた工業製品がどのように運ばれているのかを知る。</li> <li>・日本の輸入の特色を知る。</li> <li>・日本の輸出の特色を知る。</li> <li>・原料や資源の多くを輸入している日本の取り組みを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運輸と貿易の働きに着目し、日本の工業生産について考えさせるようにする。</li> <li>☆日本が原料や資源の多くを輸入している現状を踏まえた新たな取り組みについて考えて表現している。</li> </ul>
11 ～ 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【<b>これからの工業生産とわたしたち</b>】</li> <li>・昔から伝わる技術をどう工業生産に生かしているのかを知る。</li> <li>・日本の工業生産の課題を知る。</li> <li>・これからの日本の工業生産のためにできることを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「資源確保」「人口減少」「環境への配慮」に着目し、新たな取組が持続可能な社会づくりにつながっていることに気付かせる。</li> <li>☆日本が直面している課題を理解し、自分ごととして工業生産の未来について考えることができる。</li> </ul>

## 本時の流れ

段階	●主な学習活動 ・児童の活動	○支援・留意点 ☆評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本時のめあてについて、各自の PC 上で確認する。</li> <li>・ 語句の確認をする。「中小工場」「大工場」</li> <li>・ 工業にはさまざまな種類があることを想起する。</li> <li>・ Classroom にログインし、配布されたスライドの説明を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を読み取る上で、大切な語句であるため、丁寧に意味を確認する。</li> </ul>
<p>日本の工業生産の特色を読み取ろう。</p>		
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個で課題に取り組む。</li> <li>・ グループで、3つのスライドを分担する。</li> <li>・ 自分の担当のスライドについて、一人で読み取る。</li> <li>・ 読み取ったことをスライド上に記入する。</li> <li>●グループで課題に取り組む。</li> <li>・ 個で仕上げた素材を共有し、関連させて分かることを4枚目のスライドに記入する。</li> <li>・ 直接交流で、助言をし合う。</li> <li>・ コメント機能を用いて、助言し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料が表す数値や和、差に注目し、自分の担当のスライドに気付きを記入する。</li> <li>○対話のスタイルは自分たちで工夫してもよいことを伝える。</li> <li>☆自分が見つけた気付きを友達を読み取った資料の気付きと関連させ、根拠を含めた気付きを記入している。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●完成したスライドを全体で共有する。</li> <li>・ 各グループが完成させたスライドを発表し合う。</li> <li>●次回の予定を確認する。</li> <li>・ 発表の続きを行い、そこからわかる日本の工業生産の特色を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料のどの部分からその気付きを見つけたのかを想像しながら発表を聞くようにする。</li> <li>☆他のグループが見つけた気付きに対して疑問をもったり感心したりして、主体的に共有する。</li> </ul>

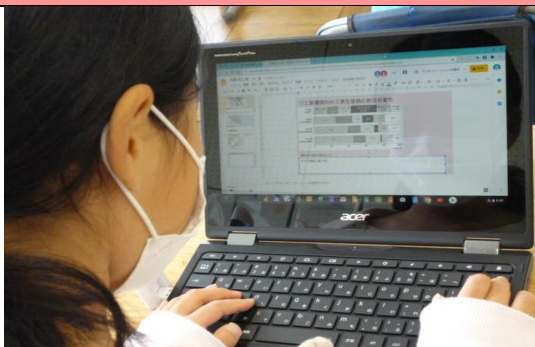
## 授業の実際

### 【ポイント1】 ● 1人1台のLTEタブレットPCの活用



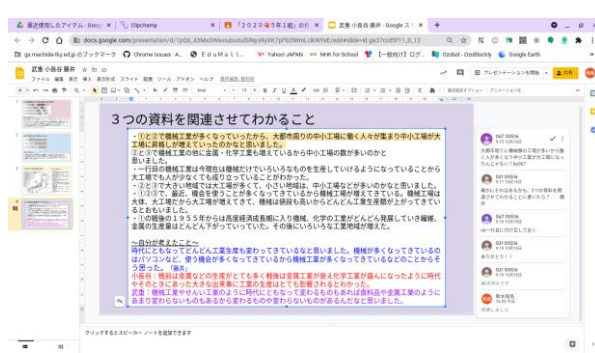
一人一人が Google のアカウントを所持しており、校内の端末にログインして学習を進めている。Google のアカウントには、児童の家庭からもアクセスが可能で、授業の課題以外にも、保護者との情報のやりとりにも活用している。

### 【ポイント2】 ● G-suite Classroom の活用



Classroom には、掲示板機能と課題を出す機能の、大きく二つの機能が存在する。授業以外にも、係活動など様々な活動で Classroom を活用している。

### 【ポイント3】 ● G-suite (「スライド」) 内での共有・共同編集機能の活用



児童は、それぞれのアカウントを紐付け、ファイルを共有することができる。共有することで、共同編集やコメントができるようになり、一人の力だけではなく、複数の知恵が合わさり、より深い学習を実現させることが可能となる。

## 今後に向けて

- 統計資料を読み取る際、単なる数や見た目だけでなく、時間をかけて資料を見ることによって、その数の裏側にある背景や資料の関連について予測できるように経験を積むことが必要である。
- 「スライド」の共有機能を用いたやりとりの際、単なる会話ではなく、思考が深まるコメントをするような指導が必要だ。その経験が、休校等の事態で完全オンライン化し、直接のやりとりができなくなった際の学習にも生かしていく。